

# 第6期 pES club step4 大会歯学生シナリオ

平成19年6月17日

東京医科歯科大学大学院 健康推進歯学分野

南郷 里奈

東京北社会保険病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

あなたはペコデンタルクリニックに勤務する4年目歯科医師です。

橋木頼さん（46歳，男性）は，数ヶ月前から通院中の患者さんです。初診時には全顎的に軽度から中等度の歯周病がみられましたが，初期治療の結果，歯肉の炎症はほぼ消退したため，今日から下顎左側臼歯部の補綴処置に移ることになりました。

橋木さんの左下6番は，約10年前にう蝕が進行して抜歯に至ったそうです。その後何も処置を受けていなかったため，歯槽骨には吸収がみられ，7番はかなり近心傾斜して5番とのスペースが狭まっています。

あなた「歯ぐきの状態はだいぶ良くなりましたね。ただ，時々歯磨きがおろそかになりがちですから，これからも気をつけていただくとして・・・今日からは，以前お話しした治療計画に沿って，左下の奥歯の被せ物をする治療に移りたいと思います」

橋木さん「ああ良かった，歯みがき歯みがきで大変でしたよ・・・で，被せ物って？」

あなた「ブリッジです。以前にご説明しましたよね？」

橋木さん「ええ。でも，ブリッジって確か，両側の歯も削らないといけないんですよね？」

あなた「そうです。両側とも既に金属の詰め物が入っていますから，それを取って，もう少し削って形を整えてから，ブリッジを入れます。でも，奥の歯はかなり傾いているので，どうしても削る量が多くなりますね。場合によっては，神経を抜かないといけないかも知れません」

橋木さん「神経も抜くんですか？今のままでも大して不自由じゃないし，それはちょっとなあ・・・」

あなた「では入れ歯にしますか？」

橋木さん「入れ歯ねえ・・・あ，インプラントってどうですか？隣りの歯は削らなくていいんじゃないですか？」

橋木さんは，隣在歯を削ることにどうしても抵抗があるようです。あなたは橋木さんともう一度，今後の補綴治療について話し合うことにしました（約10分間）。